

# 2009 “たのしい授業”講座での分子模型作り

2009. 1. 27 小樽分子模型の会 齋藤一郎

[ichirokasetu@yahoo.co.jp](mailto:ichirokasetu@yahoo.co.jp) <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

1月7日から9日に、ガトーキングダムサッポロで2009”たのしい授業”講座が行われました。全体会場のいつでもものづくりコーナーで、分子模型作りを行いました。そのときのようすをお伝えします。

## 1日目から初めての人が

7日の午後から”たのしい授業”講座は始まりました。最初は講座紹介があり、8日午前に担当する《自由電子が見えたなら》と9日午前にお手伝いする《おもりのはたらき》、いつでもものづくりの分子模型の宣伝をしました。

午後の講座は特に担当もなく、のんびりと分子模型作りの準備をして過ごしました。今回は長女の恵理菜がバイト代を稼ぎたいために、分子模型作りの手伝いをしたいと言ってきたので、7日と8日にガトキンと一緒に来てもらうことにしました。早めの夕食を食べ、夕食時に分子模型を作りに来る人を待ちました。

いつもだと仮説実験授業研究会の常連さんが陣取り、目標に考えてきた大きめの分子模型を自分のペースでひたすら作るのですが、今年はちょっと違い、常連さんだけでなく、初めて講座に参加した人が分子模型を作りたいと言ってきて、お試しの水とエチルアルコールだけでなく、氷やたくさんのお水を作ってくれました。

最初は《もしも原子が見えたなら》で電熱線カッターを使って空気の分子模型を作ったのが影響してるのかなと思っていたら、そうではなく、《もし原》の講座での分子模型作りの宣伝の効果が大きかったようです。

1日目は深夜12時頃に終了しました。



2日目は午後からいっぱい来てくれました

8日は元気に朝8時から会場に来て、分子模型作りの机を片付けて、《自由電子が見えたなら》の講座の準備をしました。さすがに恵理菜は寝不足で、午前中は倒れていたようです。

お昼休みくらいから分子模型を作る人が集まり始め、全体講演を聞きながら、分子模型を作る人もいました。

講座の担当者をお願いして、昨年よりも机を2つ増やしたので、同時に8人まで作ることができるようになったのですが、常に満席とまではいかななくても、半分以上の席がいつも埋まっている状態が続きました。ガトキンのミユスカデもだいぶ使い慣れてきて、発泡スチロール球の置き方も工夫でき、たくさんの人に分子模型を作ってもらうことができ良かったと思っています。2日目は1時過ぎまで作っていました。

### どんな分子模型を作ってもらったのか

恵理菜の記録によると、次の分子模型を作ってもらったようです。

無料の水 13個

無料のエチルアルコール 11個

-----  
蛍石, 黄鉄鉱, 砂糖, 酸素, 氷,  
二酸化炭素, 二酸化窒素,

無料の水とエチルアルコールは事務局から材料費を出してもらえたので、道具を使ったことが無い人に体験してもらうことができ良かったな—と思いました。

また、72個の大きな氷に挑戦した人も5, 6人いたのも、いつもと違うところでした。

次回は8月にまたガトキンでの講座が予定されています。資料や見本をしっかりと準備して、たくさんの人に分子模型を作ってもらえるようにしたいな—と思っています。

